

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 道路路面下の全自動三次元透視技術の完成
2. 研究代表者： 水谷 司（東京大学 生産技術研究所 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、地中レーダー技術を活用し、その計測データを非学習型で解析学的処理の代表格である「デジタル信号処理」と学習型処理の「最先端の AI」を高度に駆使して分析することによって、「道路路面下の全自動三次元透視技術」の実現を目指す、「非可視空間情報」の構築技術を開発する研究である。フェーズ 1 では、道路下の構造物の空間情報の可視化から、道路下の空隙や地下構造物の損傷にまで研究を拡大しており、着実に研究を遂行していると評価できる。IEEE などホームグラウンドの土木分野だけでなく、電気、情報の分野のジャーナルに投稿していることも高く評価できる。

フェーズ 2 では、高速走行中にレーダーデータをオンサイト・リアルタイムで分析可能にするシステムの構築を目指しており、今後さらに進展する自動運転との連携を視野に入れた計画は意欲的であると評価する。NEXCO に加えて長野県との包括連携も活かして、さらなる実装が推進されることを大きく期待する。

以上